

発生箇所	④コンクリート版端部
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(14)型枠の取りはずし
<p><b>●内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の施工において、型枠の取りはずし時に角欠けが発生した。</li> </ul>	
<p><b>●原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養生時間を要する寒冷期の低温環境下での打設や、強度発現の遅い高炉セメントやフライアッシュセメントを使用したコンクリートを打設したにもかかわらず、通常の養生期間で脱型をした。</li> <li>・型枠側面が写真のように養生マットで覆われていなかった。</li> <li>・型枠脱型作業においてコンクリートの端部・角に型枠が接触した。</li> </ul>	
<p><b>●発生防止策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用するセメントの特性を理解した上で適切な養生期間で脱型する。</li> <li>・20時間以上経過後に取りはずす。気温が10℃以下の場合にはさらに1日程度延ばして取りはずす。</li> <li>・型枠側面は外気温により温度が低下しやすいため、型枠側面も養生マットにより覆う。</li> <li>・コンクリート打設前に型枠に離型剤を塗布しておく。</li> <li>・コンクリート舗装の角に衝撃を与えないよう、慎重に脱型する。</li> </ul>	
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹脂モルタルあるいは無収縮モルタルなどにより断面修復を行う。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>